



大阪府議団だより

令和元年度10月11日の都市住宅常任委員会において

はら だ 原田こうじ議員が

余野川の河川整備計画の進捗状況や
国道423号の歩道整備、UDタクシーの普及促進、
免許返納サポート制度などについて質問しました。

これからも
質問を続けて
いきます

プロフィール

池田市選出

昭和55年9月5日生まれ／大教大附属池田小学校／大教大附属池田中学校／関西大倉高校
／甲南大学法学部卒業／(株)NEXYZ勤務を経て、衆議院議員 原田けんじ秘書／平成31年
4月より府議会議員(二期目)現在 都市住宅常任委員会委員

◆一級河川余野川の河川整備について◆

抜本的な整備が必要な余野川の河川整備…進捗状況は?

Q. 原田議員 地元池田の北部、余野川の河川整備について。平成29年2月議会では、余野川を含む猪名川下流ブロックの河川整備計画の策定に向けて必要な手続きを進め、早期の工事着手に取り組むとのことだったが、進捗状況はどうか。

A. 河川整備課長 河川整備計画は平成30年7月31日に策定。今年度より、猪名川合流点から古江橋上流の約120m区間で河川の断面を大きくするための改修工事に着手し、上流の工事を進める際に支障となる、古江浄水場の取水施設を改良するための検討を池田市へ委託しています。

◆国道423号(伏尾地区)の歩道整備◆

ますます交通量が増加する国道423号、歩行者の安全確保が急務!

～早期の歩道整備の完了を強く要望～

Q. 原田議員 伏尾交差点から北側450m区間の歩道整備事業だが、整備が進められている区間の車道幅員は約6.0mと狭隘であり、通行車両の増加が見込まれるなか、歩行者の安全確保を図ることは急務だ。伏尾地区における今後の歩道整備事業の見通しは。

A. 道路整備課長 同区間の道路法面の補強工事が令和2年度内に完了予定であるため、本工事完了後、歩道整備の拡幅工事に着手し、令和3年度内の完成を目指してまいります。

◆無電柱化◆

昨年や今年の台風では電柱に大きな被害が発生…

無電柱化が不可欠

～無電柱化事業の現状と今後～

Q. 原田議員 防災と観光面からもスピード感を持って無電柱化を進める必要がある。東京都を含めた他府県の無電柱化の整備状況と大阪府の整備状況、今後の展開を問う。

A. 道路環境課長 政令市を除く都道府県別の無電柱化率によると東京都は5%弱で最も高く、府の管理道路の無電柱化率は約2.4%で全国4位(平成29年度末時点)。無電柱化推進のためにはコストを下げる必要があり、国に対し低コスト手法の標準化を要望し、府においても既に示されている手法の活用など、取り組みを進めています。



◆UDタクシーの普及促進◆

利便性向上へUDタクシーの普及に向けた府の取り組み

Q. 原田議員 東京都では来年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けてUDタクシーの導入補助が行われ、普及が進んでいる。今後、大阪でも万博開催などさらなる来訪者への利便性向上の観点から、東京都のような補助制度を創設したUDタクシーの普及促進が必要だ。府の取り組みは。

A. 都市交通課長 国の補助制度を円滑に活用できるよう、平成30年度は府内で19事業者32両のUDタクシーを事業実施計画に位置づけ、導入を支援。また市町村が主催の地域公共交通に関する会議へ参画し、UDタクシーを含む乗合タクシーなど各地の取り組みを紹介するなど、導入促進への支援も行っています。

◆高齢者運転免許自主返納サポート制度の充実◆

吉村知事に聞く

免許返納後の移動手段を支えるバス会社の参入で、高齢者に寄り添ったサポートを!

Q. 原田議員 高齢者の免許返納後の移動手段確保につながる、バス会社参入への取り組みを進めていることで(兵庫県などでは路線バス運賃が半額になるサポートがある)、高齢者サポート制度をより一層充実させてはどうか。知事の所見は。

A. 知事 免許返納後の高齢者の移動手段の確保は重要なことから、今後も警察などの関係者と連携して、高齢者の足となるバス事業者等に対し、サポート制度への参入を促してまいります。

